

臨床研究「小児短腸症候群患者における GLP-2 アナログ製剤投与の効果の検討」について

筑波大学附属病院小児外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

GLP-2 アナログ製剤（以下、本剤）は短腸症候群の治療薬として本邦では 2020 年に発売となりました。本剤は、治験や海外での使用経験から短腸症候群の患者さんの腸管吸収を増加させ、静脈栄養（点滴からの栄養）への依存度を低下させる効果が期待されていますが、効果には患者さんによって大きく異なることが知られています。本研究では、短腸症候群と診断され本剤を投与された患者さんを対象に、本剤投与後の経過や血液検査、静脈栄養投与量の変化を検討し、本剤投与による効果を検討します。

② 研究対象者

2015 年 1 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日までに短腸症候群と診断され本剤を投与された患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025 年 3 月 31 日まで

④ 資料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024 年 8 月 1 日

提供開始予定日：該当なし

④ 研究の方法

研究対象となる患者さんの診療録を用い、下記⑤の項目について検討を行います。全ての診療情報は患者さんの名前がわからない状態で学会や論文で報告を行います。

⑤ 試料・情報の項目

診療録に記載されている、研究対象となる患者さんの年齢、身長や体重、既往歴、経腸栄養投与量、静脈栄養投与量、血液検査データ、

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 小児外科 病院助教 後藤悠大

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

TEL：029-853-3094（小児外科医局：平日 9 時から 17 時）

所属・担当者名：小児外科 後藤悠大（ごとう ゆうだい）